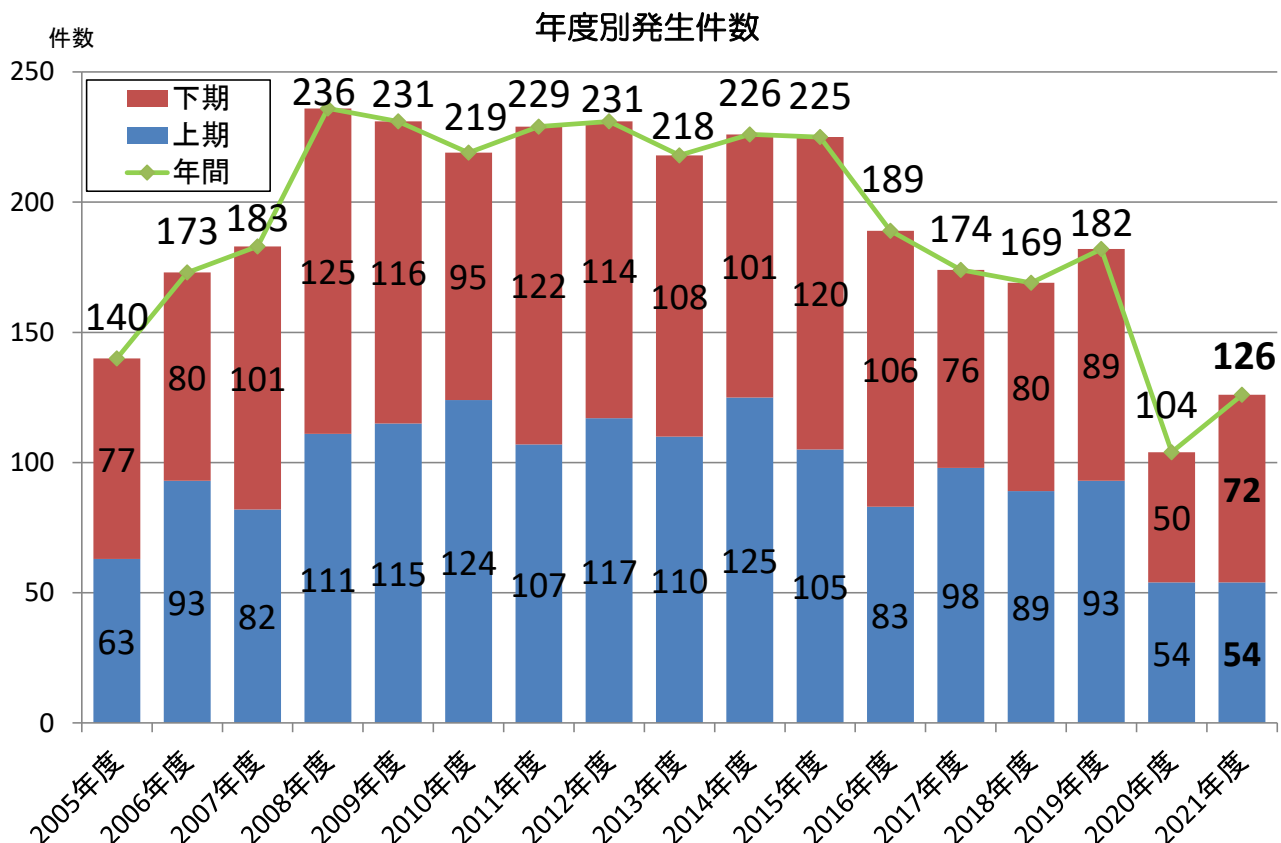


鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2021年度/大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2021年度（2021年4月～2022年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は126件（上期54件、下期72件）と、前年度に比べて22件増加しました。

長期にわたり全国的に緊急事態宣言下にあった上期は前年と同数でしたが、多くの都市がまん延防止等重点措置となった下期については大幅に増加し半期で70件を超え、2年前の新型コロナウイルス感染症流行以前に迫る水準となりました。

暴力行為が発生する状況としては、酪酊しているお客様を介助しようと近づいた時や、はっきりとした理由が見当たらないまま突然暴力を振るわれるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、飲酒している場合が多いことが見受けられます。犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。



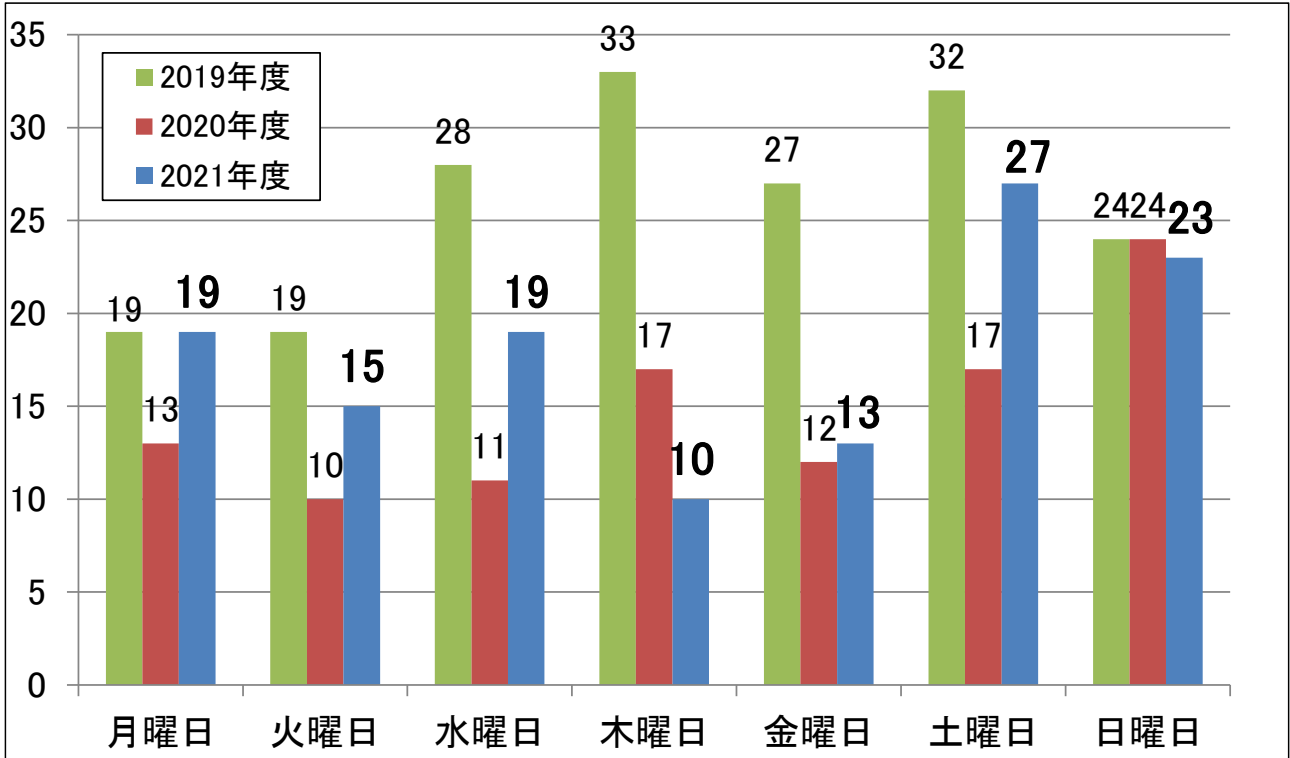
(ご参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1.曜日別 発生件数 | 2.時間帯別 発生件数 | 3.主な場所別 発生件数 |
| 4.主な契機別 発生件数 | 5.加害者年齢 | 6.加害者の飲酒状況 |
| | | 7.具体的事例 |

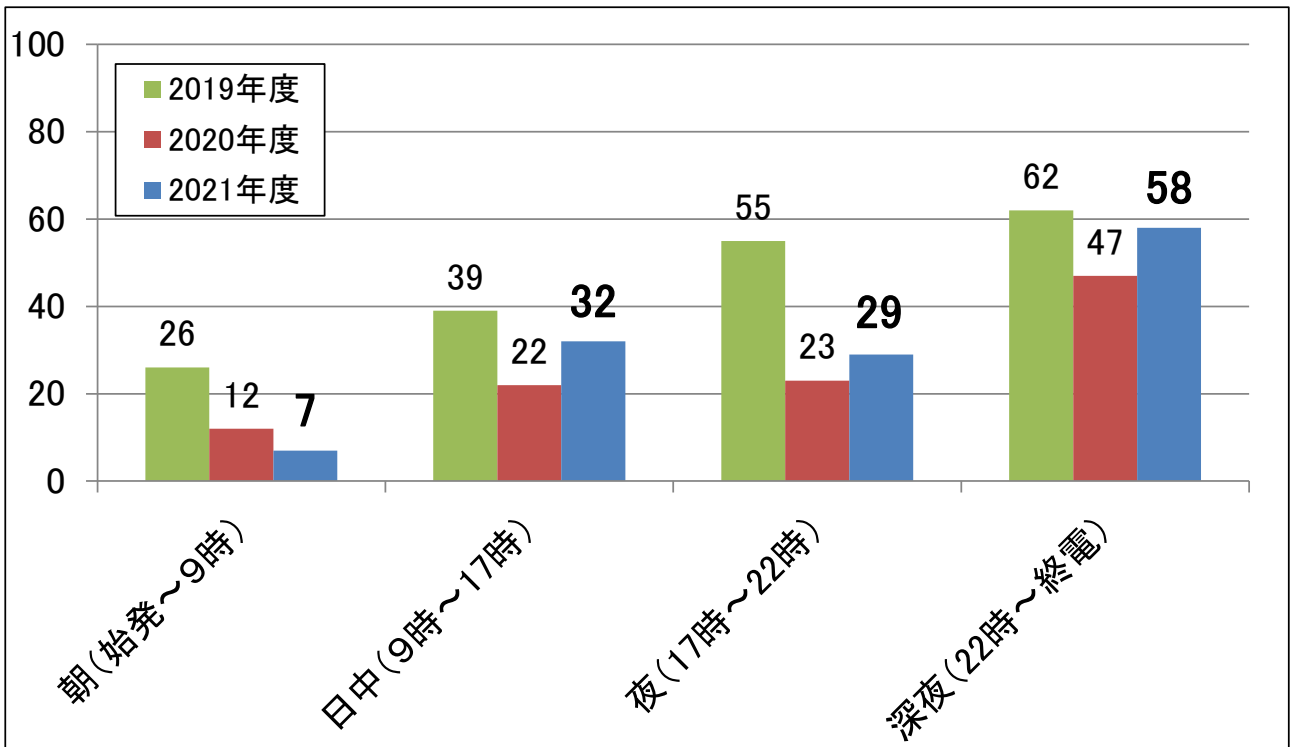
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

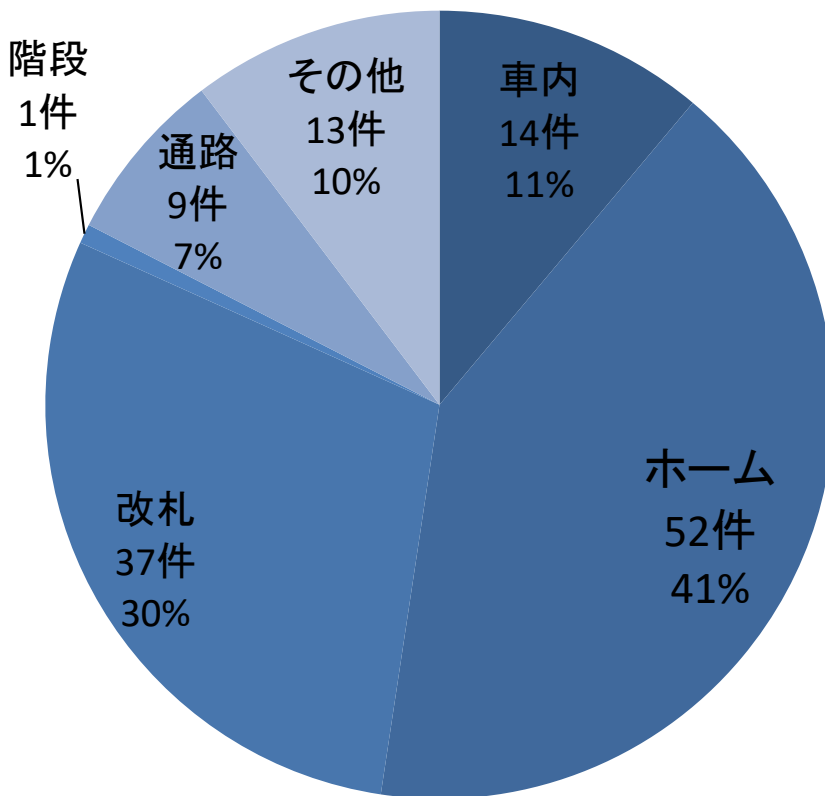
1. 曜日別 発生件数



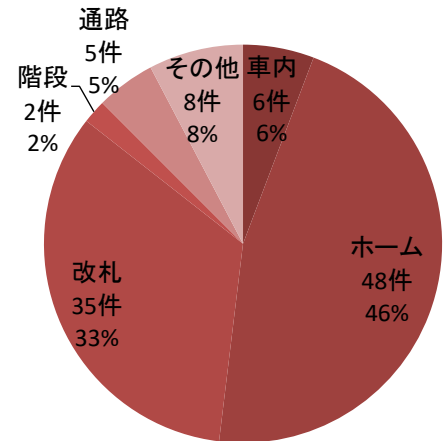
2. 時間帯別 発生件数



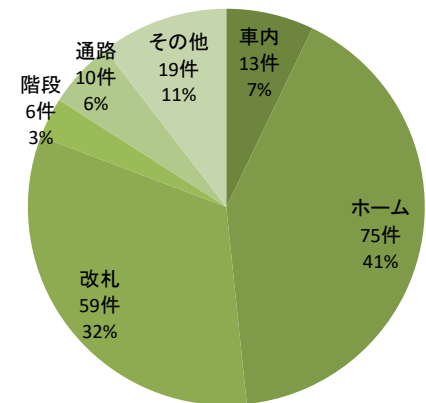
3. 主な場所別 発生件数
2021年度



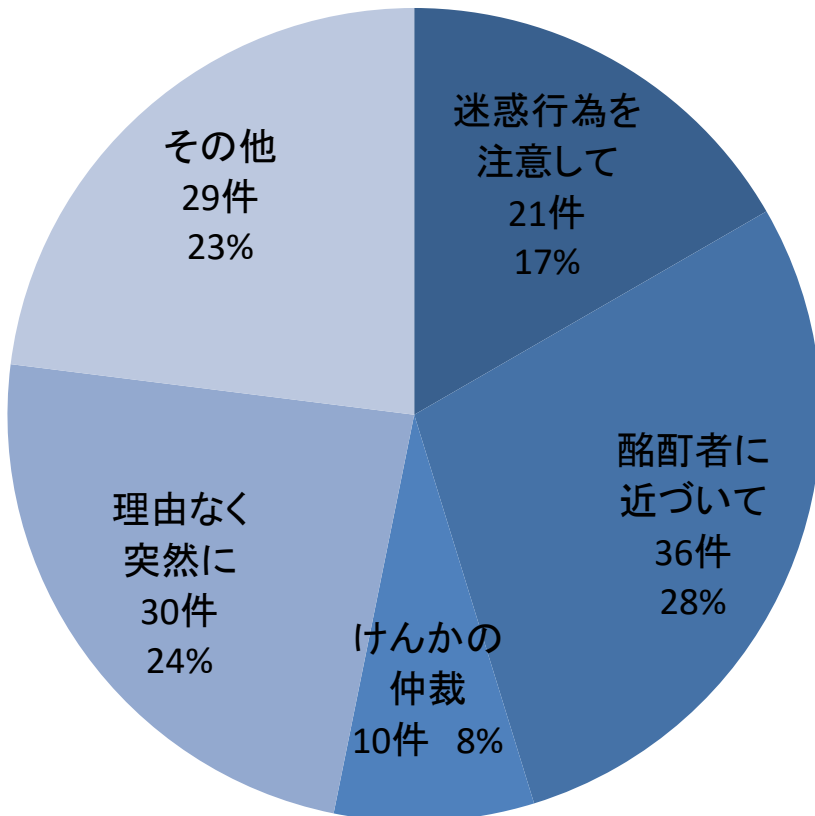
2020年度



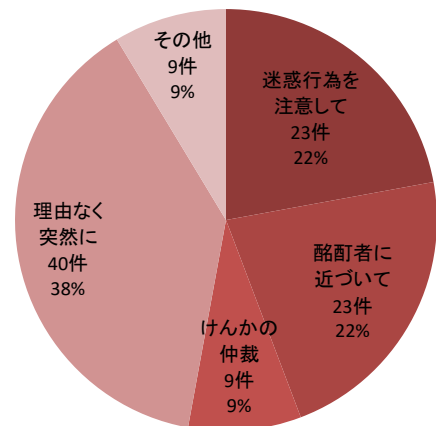
2019年度



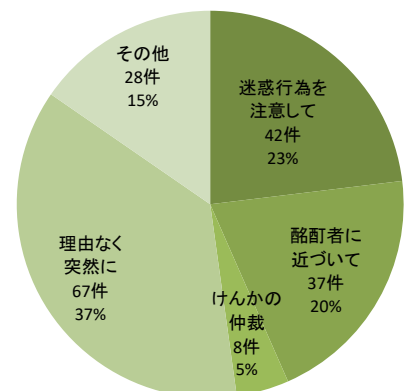
4. 主な契機別 発生件数
2021年度



2020年度

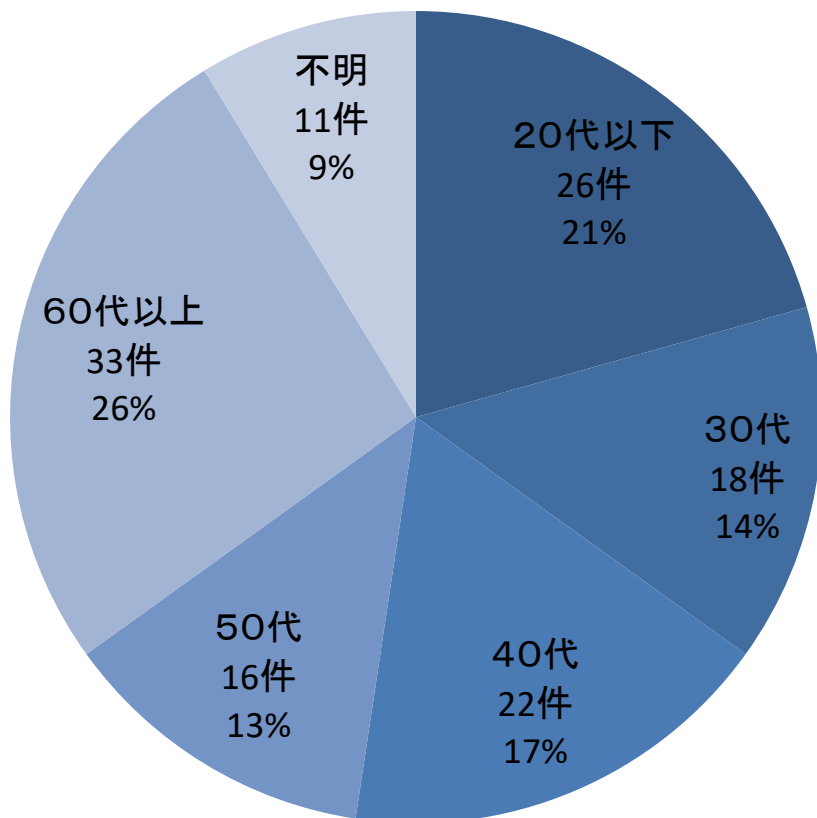


2019年度

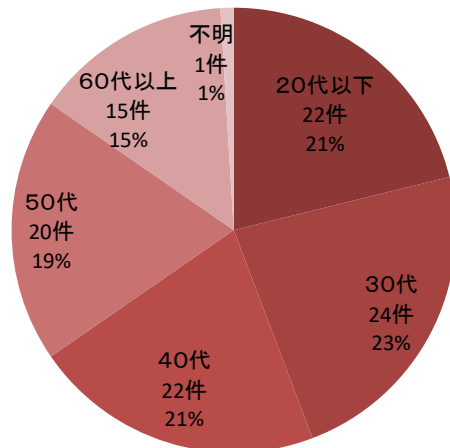


5. 加害者年齢

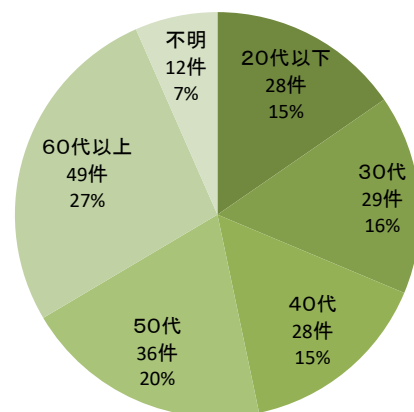
2021年度



2020年度

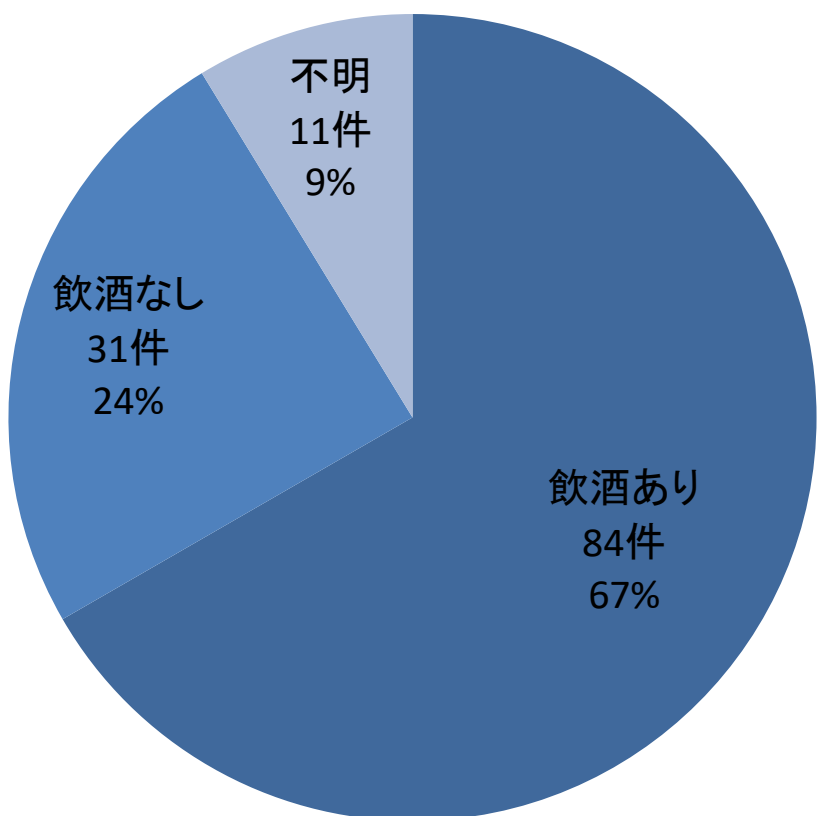


2019年度

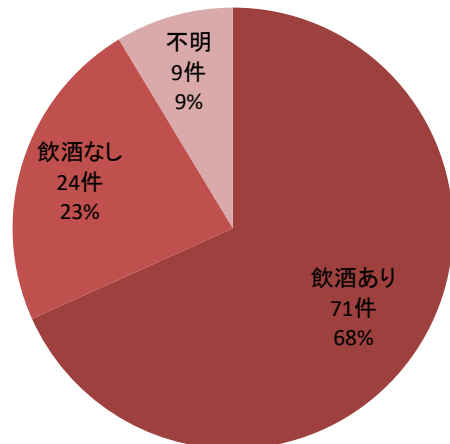


6. 加害者の飲酒状況

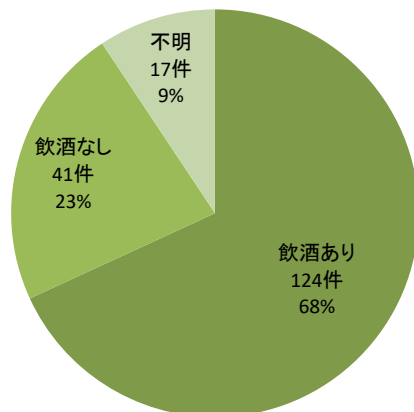
2021年度



2020年度



2019年度



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	水曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	20代	飲酒	あり

最終列車到着後、降車したお客さまを改札口までご案内中、加害者がエスカレーターに乗る際非常停止ボタンを蹴ったため危険を感じお声がけをしたところ、突然逆上し胸倉を掴まれ、首を強く抑えられ受傷した。

【事例2】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	酩酊者に近づいて	年齢	不明	飲酒	あり

駅係員 A はホームの端で寝ている人がいるとの連絡を受け現場へ急行し、倒れている男性を認めた。数回お声がけをしたところ、「●●駅まで行く」と応答されたので、改札口までご案内をした。改札外へ出る際、乗車券の確認をしたところ「お前の態度が気に入らない」といきなり首に肘打ちをされ受傷した。

【事例3】

曜日	火曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	車内
契機	けんかの仲裁	年齢	50代	飲酒	あり

運転士 A は、●●駅停車中に扉付近で発生した乗客同士のトラブルを仲裁していたところ、加害者男性にビニール傘で突かれ、先端が頭部右側をかすめ眼鏡を損傷した。

【事例4】

曜日	月曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	40代	飲酒	あり

駅員 A は改札口にて執務中、加害者へのご案内を終えたが、出場しようとした加害者が振り向きざまに手を振り上げ、左胸を殴打された。更に、逃亡の危険があるため、身柄の確保を行った際に、顔を数回殴打され受傷した。